

■藤村トヨ 女子体育教育家。体操教員検定に女性として初めて合格、体操選手の名門(藤村学園)を創り上げた。

ふじむらとよ

西南戦争・・・1877＝ 香川県阿野郡坂出村で、塩と砂糖を製造する裕福な商家藤村九平の三女に生まれる。

後妻として来た母タネとしては最初の子で、自ら学問好きの一方、遊芸好きの夫との年齢差も大きくて合わず、自分のできなかつたことを託そうとする娘は、生まれながらに、聡明・早熟で好奇心が強く、

明治14年政変1881＝ 4歳：
新体詩抄・・・1882＝ 5歳：

親類の寺子屋に通ううち、早くも近所の評判になり、

秩父事件・・・1884＝ 7歳：

坂出にできた尋常小学校に入学。担任も驚くほどの知識で、放課後は九亀にまで通わせる。遊芸を仕込まうとする父に逆らっては叩かれ、年配の下男が止めに入り、学問こそと励ましてくれる。

帝国大学始・・・1886＝ 9歳：
国民之友始・・・1887＝10歳：

父が投機に失敗して逼迫すると、学問ばかりで働かないと親類からの非難も強くなり、ついに母はトヨはじめ自分の産んだ子5人を連れて実家に戻り、伯父(母の兄)の世話を受けることになるが、

初の対等条約1888＝11歳：
帝国憲法発布1889＝12歳：

卒業と同時に伯父からも引渡され、またも家出した母と借家に移る。母に報いようと猛勉強し、

帝国議会始・・・1890＝13歳：

九亀の小学校を卒業。成績の優秀さと家の貧しさが郡役所にまで聞こえ、師範学校に行かせようとするが、娘を田舎教師でなく東京へ出したい母が固辞し続け、さらに予習した上、

足尾鉍毒始・・・1891＝14歳：

坂出唯一の中学校の私立(済々学館)に入学、初めての英語も含めて猛勉強し、本科に編入された上、トップの男子と席次を争うまでになるが、やがて、母の期待に添おうとすることがプレッシャーになって、

郡司千島探検1893＝16歳：
日清戦争始・・・1894＝17歳：

強度の神経衰弱になり、成績もどんどん落ちて行く上、(済々学館)も廃校になってしまう。

日清戦争終・・・1895＝18歳：
白馬会・・・1896＝19歳：

女医になろうと、東京の(済生学舎)への入学を企て、篤志家の支援も得るものの、ドクター・ストップ、郡に詫言を入れて坂出小学校の代任訓導となり、推薦を受けて香川県尋常師範学校に入学するも、

子規句歌革新1898＝21歳：

それすらついてゆけず、1年で病気退学、家に閉じこもり、母に抵抗してはともに泣くうち、回復し始め、周囲の配慮もあって、再び小学校に勤務するが、

Bushidou・・・1899＝22歳：
ピアノ国産化・・・1900＝23歳：

東京女子高等師範学校理科に合格、出征軍人のように見送られ東京、みるみる元気を回復して行くが、全寮制に耐えられず、2年に進級した頃からまた勉強がつらくなり、脚気と診断されて休学、

田中正造直訴1901＝24歳：

舎監の愛情ある叱咤を受け、校医の支えもままならず、退学となってしまいます。特例で保証人による自費通学が認められるものの心身回復せず、教師町田則文の心もった説得を受け、恥を忍び憔悴しきって帰郷。母が喜んで迎えてくれたことから、全てのわだかまりが解消。

教科書疑獄・・・1902＝25歳：

高校市で開催される関西府県連合会関連の運動会開催に当たり、小学生に体操やダンスを教えることと依頼に、周囲が止めるのも聞かずに学校に行き、東京高等師範で近代体育の父'坪井玄道の弟子高橋忠次郎から教わった知識をもとに練習するうち、健康を回復し、神経衰弱も完全に治癒。運動会も大成功で絶賛され、私立丸亀女学校に招かれて教えることになるとともに、越智博士から人体解剖生理学の個人指導も受ける。すっかり体育の信奉者に変身し、好きで得意だった理科・数学と決別、結婚もするが、

日比谷公園・・・1903＝26歳：
日露戦争始・・・1904＝27歳：

高橋らが設立していた私塾のような東京女子体操音楽学校の教師に迎えられ、坪井玄道にも師事、以後、10年無給で協力して貰うことになる。著名になる前の岩波茂雄にも一時国語漢文の教師をして貰い、

日露戦争終・・・1905＝28歳：
満鉄発足・・・1906＝29歳：

*体操教員検定試験で、困難な実技もクリアして、女子最初の合格者となる。私立日本女学校の講師に招かれ、"森田療法"の森田正馬と運命的出会い。

アヲヲ創刊・・・1908＝31歳：

渡米した高橋から、その留守を任されるも、学校経営はますます悪化し閉鎖命令まで出るなか、*その校長になるや大改革を断行、町田・坪井らの支援も受け、廃校命令は撤回。森田正馬を講師に招き、自らも三つの学校講師を掛け持ちの上、視察研究で全国を回るなどして奮闘、

明治天皇没・・・1912＝35歳：
大正政変・・・1913＝36歳：

これ以前に離婚したらしい。高橋がアメリカで死去。大正博覧会にかねて取組んできた女子体操用の改良服を出品。ようやく安定してくると、理論的裏付も必要と、神田高等女学校に編入して受験資格を得、

第一次大戦始1914＝37歳：

女子教育の先覚者吉岡弥生の東京女子医学専門学校に入学し、この間、ドイツ式体操に確信を持ち、国の進めるスウェーデン式体操に対抗し孤独な闘い、ドイツ式を普及しようとする全国行脚するとともに、師坪井玄道への迷惑もかまわず、文部省になんども研究要請、

大暴落・・・1920＝43歳：
原敬首相暗殺1921＝44歳：

卒業。師坪井玄道に続いて、母も死去。東京女子体操音楽学校が吉祥寺に移転し、

水平社結成・・・1922＝45歳：
護憲三派圧勝1924＝47歳：

日本女子体育協会の結成を呼び掛け、機関誌(婦人と体育)を発刊、ラジオ放送が開始されると、ラジオでも講演。文部省から教員無試験検定許可。個人で幼稚園も始め、

治安維持法・・・1925＝48歳：
金融恐慌・・・1927＝50歳：

この年まで行脚を続けた。この間も、何かと森田正馬の協力を仰ぐ。

共産党事件・・・1928＝51歳：
世界恐慌・・・1929＝52歳：

さらに、体育視察目的に世界一周旅行に出、ドイツで嘉納治五郎に会い、ドイツ人教師招聘を意識。この年、生涯の恩師町田則文(日本の盲人教育の父といわれる)が死去。

海軍軍縮条約1930＝53歳：
満州事変・・・1931＝54歳：

再び渡欧し、ドイツから若いワルター女子の招聘に成功、帰国。尋常小学校を設け、

国際連盟脱退1933＝56歳：

*第二運動場と校舎を新築、高等女学校を加えて(井之頭学園)として発足させる。

日中戦争始・・・1937＝60歳：
健保+総動員1938＝61歳：

'女子体育は女子の手で'をスローガンに、女子体育指導者の養成につとめ、日本女性の姿勢の悪さに着目、「腰伸ばせ、すなわち腹の力」という標語を立て、矯正に力を入れた。さらに体育即生活を主眼に、生活上の礼儀作法をしつけることにも意を用いた。

大政翼賛会・・・1940＝63歳：
日米開戦・・・1941＝64歳：

ベルリンオリンピックを見に行った翌年、ジャパントイムズで紹介され、藤村女子体育研究会を発足、森田正馬が死去し友人代表で弔辞。女子体育展覧会でも紹介されるなど、世間からも認知され、

年金+総武装1944＝67歳：
敗戦・・・1945＝68歳：

女子体育振興会から、女子体育功労者として表彰される。日米開戦すると、"軍国の母"ぶりがエスカレート、

新憲法施行・・・1947＝70歳：

ようやく、専門学校の認可を受け、東京女子体育専門学校となる。敗戦の打撃に加え、

三大事件・・・1949＝72歳：
朝鮮戦争始・・・1950＝73歳：

教育基本法・学校教育法が成立、短期大学設置基準が決定され、それへの対応が大きな課題となるが、

独立回復・・・1951＝74歳：

なんとか東京女子体育短期大学として認可され、組織変更して、学校法人(藤村学園)を創立、理事長となる。

自衛隊発足・・・1954＝77歳：
55年体制始・・・1955＝78歳：

日本体操協会副会長・東京女子体育短期大学学長。

自衛隊発足・・・1954＝77歳：
55年体制始・・・1955＝78歳：

かつての卒業生の世話を受けるようになり、心筋梗塞で没した。著書に「学校体育論」がある。

寺田和子「気骨の女・森田正馬と女子体操教育に賭けた藤村トヨ」、平凡社百科事典、「目でみる日本人物百科」、